

事務事業	14027	学校施設整備事業	担当課	学校教育課	担当係	学校教育係
計画期 画期 体計 系画	施策	06 子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会 計 款 項 目	1 10 1	一般会計 教育費 02小学校費、03中学校費 学校管理費
取り組み方針			200 安全で快適な教育環境を整える			
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S52 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
教育環境の改善及び学校教育の円滑な実施に資するため、また、災害発生時の町民の避難場所としての安全性を確保するため、経年等により生じる学校施設の傷みや機能低下を改善・補修する事業。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		主 な 事 業 費 の 内 訳
各施設の維持補修工事		
・学校からの修繕依頼を受け調査を実施・業者との契約、支払事務		
		西小施設整備工事 856 千円
		東小施設整備工事 3,060 千円
		東中施設整備工事 93 千円
		中央小施設整備工事 22,993 千円
		志免中施設整備工事 11,965 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動)	30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 各施設の維持補修工事
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	小中学校
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	良好な教育環境が維持される。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 維持補修件数	件	125	102	100 (見込)	
イ 要望件数	件	125	102	100 (見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 志免町立小中学校施設数	校	6	6	6 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 修理要望件数に対する達成度	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	/
イ 施設に起因する事故件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	0	/
ウ		目標			/
		実績			/
エ		目標			/
		実績			/
オ		目標			/
		実績			/

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等	17,928			20,000		
		一般財源	13,054	19,268	42,245	101,730		
		合計(A)	30,982	19,268	42,245	121,730	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	5,423	8,523	7,422	5,174			
トータルコスト(A)+(B)	36,405	27,791	49,667	126,904	0	0		

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
施設の建設以降、適正な維持管理のため実施している。	施設の大半が建築後25年以上を経過しており、老朽化の進行から維持補修の必要がある。 各小中学校校舎・体育館の耐震化を含めた大規模改修工事は平成28年度で終了した。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	施設を適正に維持・管理し、児童生徒が快適な学校生活を送っていくためには必要な事業である。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	学校の設置は地方公共団体の役割であり、設置する学校を管理し、経費を負担する義務がある。(学校教育法)
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある (理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない (理由→)	学校からの修繕の要望には、概ね対応できているため向上の余地は無い
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	施設の建設年数の経過により、年々経常的に修繕等は必要となるため、廃止・休止をした場合、施設の老朽化が進み事故につながる恐れがある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	安全・安心な教育現場環境の維持・確保を図る上で、最小限の事業費であると思われる。これ以上の削減はできない。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

安全・安心な教育現場環境の維持・確保を図ることが出来た。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	